

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

#2
03/29/02



(translation)

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of
the following application as filed with this office.

Date of application: December 26, 2000

Application Number: Japanese Patent Application
No. 2000-395486

Applicant(s): V-Sync Co., Ltd.

Date of this certificate: November 26, 2001

Commissioner,
Patent Office

Kozo OIKAWA

Certificate No. 2001-3103843

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年12月26日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-395486

出 願 人

Applicant(s):

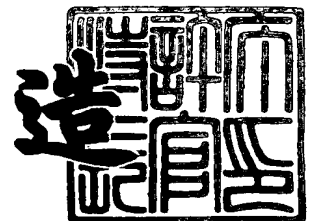
株式会社ブイシンク



2001年11月26日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3103843

【書類名】 特許願

【整理番号】 12P340

【提出日】 平成12年12月26日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 5/00
H04L 12/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都渋谷区神宮前 6-10-11 原宿ソフィアビル
7階 株式会社ブイシンク内

 【氏名】 太田 晋吾

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都渋谷区神宮前 6-10-11 原宿ソフィアビル
7階 株式会社ブイシンク内

 【氏名】 井部 孝也

【特許出願人】

 【識別番号】 500313606

 【氏名又は名称】 株式会社ブイシンク

【代理人】

 【識別番号】 100063565

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 小橋 信淳

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 011659

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通信販売システム及び通信販売方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 テレビジョン放送又は通信路網を通じてのホームページ情報を受信して、通信販売される商品又は役務に関する管理情報を再生表示する端末装置と、

前記端末装置に再生表示された前記管理情報を光学読取りする光受信手段を備えた携帯通信装置とを備え、

購入者による前記携帯通信装置の操作によって所望の商品又は役務を選択指定がなされると、前記光受信手段によって光学読み取りした管理情報に基づいて、選択指定された商品又は役務を購入申し込みするための申込データを生成して、通信販売主に送信することを特徴とする通信販売システム。

【請求項2】 前記通信販売主側に前記申込データが送信されると、申し込まれた商品又は役務の購入者への提供を指示する指示手段と決済を行う決済手段とを備えることを特徴とする請求項1記載の通信販売システム。

【請求項3】 テレビジョン放送又は通信路網を通じてのホームページ情報によって通信販売するための商品又は役務に関する管理情報を端末装置に再生表示させ、

光受信手段を備えた携帯通信装置によって、前記端末装置に再生表示させた前記管理情報を光学読取りさせ、

購入者による前記携帯通信装置の操作によって所望の商品又は役務を選択指定がなされると、前記光学読み取りした管理情報に基づいて、選択指定された商品又は役務を購入申し込みするための申込データを生成して通信販売主に送信することを特徴とする通信販売方法。

【請求項4】 前記通信販売主側に前記申込データが送信されると、申し込まれた商品又は役務の購入者への提供を行うと共に、電子決済を行うことを特徴とする請求項3記載の通信販売方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通信ネットワークを用いて商品の販売や役務の提供を行う通信販売システム及び通信販売方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の通信販売の方法として、テレビジョン放送を利用する方法が知られている。このテレビジョン放送を利用する方法では、通信販売業者が商品紹介番組をテレビジョン放映し、その放映された番組を見た視聴者が所望の商品をファクシミリや電話を使って申し込むと、指定された商品を購入者（視聴者）へ配送する等の手順で取引が行われるようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

ところが、上記従来のテレビジョン放送を利用する通信販売の方法では、購入者（視聴者）にとっては購入申し込みの意志を通信販売業者に通知するのに手間が掛かる等の問題があり、通信販売業者にとっては購入者からの購入申し込みの意志が確実に伝わらず、無用のトラブルが生じる等の問題があった。

【0004】

本発明は、このような従来の問題を克服し、利便性の向上、例えば簡単な操作で購入申し込みや決済処理等を行うことが可能な通信販売システム及び通信販売方法を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本発明の通信販売システムは、テレビジョン放送又は通信路網を通じてのホームページ情報を受信して、通信販売される商品又は役務に関する管理情報を再生表示する端末装置と、前記端末装置に再生表示された前記管理情報を光学読取りする光受信手段を備えた携帯通信装置とを備え、購入者による前記携帯通信装置の操作によって所望の商品又は役務を選択指定がなされると、前記光受信手段によって光学読み取りした管理情報に基づいて、選択指定された商品又は役務を購入申し込みするための申込データを生成して、通信販

売主に送信することを特徴とする。

【 0 0 0 6 】

また、上記通信販売システムにおいて、前記通信販売主側に前記申込データが送信されると、申し込まれた商品又は役務の購入者への提供を指示する指示手段と決済を行う決済手段とを備えることを特徴とする。

【 0 0 0 7 】

上記目的を達成するための本発明の通信販売方法は、テレビジョン放送又は通信路網を通じてのホームページ情報によって通信販売するための商品又は役務に関する管理情報を端末装置に再生表示させ、光受信手段を備えた携帯通信装置によって、前記端末装置に再生表示させた前記管理情報を光学読取りさせ、購入者による前記携帯通信装置の操作によって所望の商品又は役務を選択指定がなされると、前記光学読み取りした管理情報に基づいて、選択指定された商品又は役務を購入申し込みするための申込データを生成して通信販売主に送信することを特徴とする。

【 0 0 0 8 】

また、上記通信販売方法において、前記通信販売主側に前記申込データが送信されると、申し込まれた商品又は役務の購入者への提供を行うと共に、電子決済を行うことを特徴とする。

【 0 0 0 9 】

これら本発明の通信販売システムと通信販売方法によれば、購入者（端末装置の所有者等）は、所有する携帯通話装置を用いて簡単に商品や役務の購入申し込みを行うことができ、通信販売主は、テレビジョン放送や通信網等のメディアを利用して、不特定多数の視聴者を対象として商品や役務の拡販を図ることができる等の優れた効果を発揮する。また、電子決済を行うことをことで、信頼性の高い商取引を可能にする。

【 0 0 1 0 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。尚、図 1 は、本実施形態の通信販売システムの全体構成を示す概略図である。

【0011】

図1において、本通信販売システムは、テレビジョンセット1と携帯電話2を用いて通信販売の取引が行われるようになっている。

【0012】

通信販売を行う事業者（以下、「通信販売主」という）6は、販売しようとする商品や役務（サービス）を紹介するためのテレビジョン番組（以下、「紹介番組」という）を制作し、テレビジョン放送局4から不特定多数の視聴者（購入者）3のテレビジョンセット1に向けて放送する。ここで、紹介番組としては、商品等を紹介するための専用の番組を制作して放映する場合に限らず、通常の番組映像の一部分等に、いわゆるホームページ情報の形態で重複表示するものが含まれる。そして、ホームページ情報の中に、GIF規格等で制作したアニメーション動画等の後述する管理情報を表示させる。

【0013】

紹介番組を見た購入者3は、携帯電話2によって携帯電話会社5の通信ネットワークを通じて通信販売主6との間で通信し、放映された商品や役務の中から所望の商品や役務の購入申し込みを行うようになっている。

【0014】

そして、購入申し込みを受けた通信販売主6は、商品が指定された場合には、配送業者7に依頼してその指定された商品の購入者3への配送を行わせたり、役務が指定された場合には、図示しない役務の提供業者に依頼して、購入者3への役務提供を行わせるようになっている。また、上記の配送業者又は役務の提供業者は、商品又は役務の提供に対応する代金の決済を、通信販売主6にネットワーク接続されている決済センタ8を通じて行うようになっている。

【0015】

次に、本通信販売システムの動作及び機能を詳細に説明する。

通信販売主6が紹介番組を制作する際、紹介する商品や役務に対応した管理データDpを映像信号（コンポジット信号）に含めて制作する。例えば、テレビジョンセット1にてその紹介番組が放映され、図2に示すように、複数の商品や役務の紹介が再生表示される際、再生映像中の一部分に、通信販売主6の識別コー

ドデータ（電話番号を含む）IDbと、商品や役務を識別するための識別コードデータIDs、放映の日時を示す時間データDt等を含んだ管理データDpが光信号の映像パターンPとして表示されるように、紹介番組を制作する。

【 0 0 1 6 】

より詳細には、上記データIDb、IDs、Dtを結合することによって管理データDpを生成した後、その管理データDpを所定の暗号化鍵で暗号化することで2値の時系列データを生成し、更に、商品や役務を映し出すためのフレーム（又はフィールド）画像データ中に、フレーム（又はフィールド）周期に同期して時系列データをコンポジット信号中に混入することで、高速に点滅表示する光信号としての映像パターンPが再生表示されるようにしている。また、通常の番組の表示領域の一部分にGIF規格等で制作したホームページ情報を表示させ、そのホームページ情報中に管理データDpを含めた形態で表示するようにする。

【 0 0 1 7 】

携帯電話2は、図3のブロック図に示すように、マイクロプロセッサ（MPU）などの演算制御機能を有する中央制御部2aと、テレビジョンセット1に映し出される映像パターンPを受光（受信）する光受信部2bと、光受信部2bが検出した受信信号を復号することにより上記の管理データDpを再生して記憶部2dに記憶させる解析部2cと、操作部2eを備えて構成されている。ここで、中央制御部2aは、本携帯電話2全体の動作を制御し、操作部2eは、電話番号を指定したり種々の動作モードを指定するための所謂ファンクションキーを備えて構成されている。

【 0 0 1 8 】

更に携帯電話2には、携帯通信ネットワークを通じて無線通信を行うための送受信アンテナANT及び送受信部2fと、データ生成部2g、照合部2h、表示部2i、履歴記憶部2jが備えられている。

【 0 0 1 9 】

ここで、照合部2hは、購入者が操作部2eを操作して所望の商品や役務を指定すると、その指定データと記憶部2d中に記憶されている管理データDpとを照合し、指定された商品や役務に該当する管理データDpを読み出してデータ生

成部 2 g に供給する。

【 0 0 2 0 】

データ生成部 2 g は、携帯電話 2 に予め設定されている電話番号や住所等、購入者の居場所を特定するためのデータと照合部 2 h からの管理データ Dp とを結合することによって申込データを作成し、更に、その申込データを所定の暗号化鍵で暗号化して送受信部 2 f に供給する。そして、送受信部 2 f が、管理データ Dp 中に含まれていた電話番号によって通信販売主 6 に通信し、暗号化された申込データを携帯電話会社 6 の通信ネットワークを通じて通信販売主 6 に送信する。

【 0 0 2 1 】

表示部 2 i は、液晶ディスプレイ等の軽量且つ薄い表示装置で形成されており、相手方の電話番号を表示する等の通常の通話の際の表示の他、通信販売を行う際に操作メニュー等を表示するようになっている。また、後述の決済が行われた際の決済情報を表示する。

【 0 0 2 2 】

履歴記憶部 2 j は、不揮発性半導体メモリ等で形成され、上記の申込データと決済が行われた際の決済情報のデータを、履歴データとして記憶して管理する。尚、購入者 3 が操作部 2 e の所定のファンクションキーを操作すると、履歴記憶部 2 j 中の履歴データを表示部 2 i に表示させて、確認できるようになっている。

【 0 0 2 3 】

購入者 3 は、携帯電話 2 を次のように操作すると購入申し込みを行うことができる。

【 0 0 2 4 】

まず、テレビジョンセット 1 により、通信販売主 6 の紹介番組を表示させる。これにより、通信販売主 6 が販売しようとする商品や役務に関する映像が再生表示される他、管理データ Dp が映像パターン P として表示される。

【 0 0 2 5 】

ここで、購入者（視聴者）3 が、携帯電話 2 に設けられている光受信部 2 b を

映像パターンP側に向けて操作部2eの所定ファンクションキーをオン操作すると、映像パターンPの受信が開始され、管理データDpが解析部2cを通じて記憶部2dに記憶される。

【0026】

次に、紹介番組中の再生表示や出演者の音声説明などの指示に従って、購入者3が操作部2eを操作して所望の商品や役務を指定した後、確認の操作をすると、照合部2hとデータ生成部2gとの処理によって申込データが生成され、送受信部2fを通じて通信販売主6へ送信される。

【0027】

例えば、図2に示す再生映像中の項目{1}で表示されたパソコンXXXXを購入しようとする場合、購入者3は操作部2d中のテンキー「1」を操作することにより所望の商品を指定することができ、また、出演者が商品や役務に対応付けられている各項目{1}，{2}……の番号を操作部2d中のテンキーで指定するように説明し、それに従って購入者3がキー操作することにより所望の商品や役務を指定できる。尚、かかる指定方法はあくまでも一例であり、複数桁の数字列からなる商品コードや役務コードを操作部2dから入力する等の他の指定方法を行うようにしてもよい。

【0028】

こうして購入者3が携帯電話2を用いて購入申し込みを行うと、通信販売主6が管理運営するデータベースサーバ（図示省略）が申込データを自動的に入力して復号し、申込データの正当性を確認する。そして、正当性を確認すると、通信ネットワークを通じて申込み確認データを携帯電話2側へ返信する。

【0029】

このように申込み確認データが携帯電話2側に送られ、送受信部2fがこれを受信すると、申込み確認データの情報を表示部2iに表示させる。そして、購入者3が申込み確認データを最終確認して、操作部2eの所定ファンクションキーを操作すると、照合部2hとデータ生成部2gとの処理によって最終確認データが生成され、送受信部2fを通じて通信販売主6へ送信される。

【0030】

そして、最終確認データを通信販売主 6 側のデータベースサーバが受信し、再度、最終確認データの正当性を確認すると、再び商品発送や役務の提供を行う趣旨の発送確認データを携帯電話 2 側へ返信すると共に、配送業者 7 に対して商品の発送手続きを指令したり、役務の提供業者に対して購入者 3 への業務の実行を指示する。更に、通信販売主 6 側のデータベースサーバは、少なくとも、購入者 3 からの申し込みを受け付けた時点から、配送業者 7 又は役務の提供業者に対して指令した時点までの間に行われた各交信データを履歴データとして記憶し管理する。

【0031】

また、携帯電話 2 の履歴記憶部 2 j も、購入申し込みを行った時点から発送確認データを受信した時点までの交信データを記憶し管理するようになっている。

【0032】

次に、配送業者 7 が所定された商品を購入者 3 に配送し、購入者 3 が代金の支払いを行う際に、図 4 に示すように、購入者 3 は携帯電話 2 を用いて、配送業者 7 はその所有する携帯電話 9 を用いて、通信販売主 6 に対して決済のための通信を行う。すなわち、購入者 3 は、携帯電話 3 に設けられている操作部 2 e の所定ファンクションキーを操作することで、指定した商品を受け取って代金を支払った旨の確認データを送信し、配送業者 7 は、携帯電話 9 に設けられている操作部 9 e の所定ファンクションキーを操作することで、指定された商品を引き渡して代金を受け取った旨の確認データを送信する。

【0033】

そして、これらの確認データを通信販売主 6 側のデータサーバが受信すると、管理しておいた履歴データとこれらの確認データとを照合し、誤りが無いことを確認すると、決済センタ 8 に対して決済処理を行わせ、更に決済結果が返送されてくると、決済完了を示すデータを、購入者 3 と配送業者 7 のそれぞれの携帯電話 3, 9 に返信すると共に、決済データを履歴データとしてデータサーバに記憶し管理する。

【0034】

こうして決済データが送られてくると、各携帯電話 3, 9 の表示部 2 i, 9 i

に決済データの情報が表示され、これらの表示を購入者 3 と配送業者 7 が確認することで、適切な取引がなされたと判断することができるようになっている。

【 0 0 3 5 】

尚、上記の決済の方法は、現金による支払いがなされた場合を説明したが、購入者 3 が携帯電話 2 を操作して、所有するクレジットカードやマネーカードの番号を入力操作し、決済センタ 8 がその番号の正当性を確認すると電子決済を行い、通信販売主 6 のデータベースサーバを通じて、電子決済の結果を購入者 3 と配送業者 7 のそれぞれの携帯電話 3, 9 に返信するようにしてもよい。

【 0 0 3 6 】

また、役務の提供業者が役務の提供を行って代金の支払いを受ける際にも、上記商品の引き渡しの場合と同様に、購入者 3 と役務の提供業者がそれぞれの携帯電話 3, 9 を用いて、通信販売主 6 及び決済センタ 8 に対し決済処理の要求を行うことで、適切な取引を行うことができるようになっている。

【 0 0 3 7 】

以上に説明したように本実施形態の通信販売システムによれば、購入者（視聴者）は、所有する携帯電話を用いて簡単に商品や役務の購入申し込みを行うことができ、通信販売主は、テレビジョン放送というマスメディアを利用して、不特定多数の視聴者を対象として商品や役務の拡販を図ることができる等の優れた効果を発揮する。

【 0 0 3 8 】

尚、以上に説明した本実施形態は、あくまでも本発明を説明するための一実施形態であり、不特定多数の視聴者を対象として広範に情報を提供するテレビジョン放送媒体と、特定の購入申込者との間で適切な商取引を行う通信ネットワーク媒体とを利用して、それらを組み合わせることによって、多様な通信販売システムを構築するようにしてもよい。また、より強靱（robust）な暗号化復号技術を適用して、更に信頼性の高い商取引を行う手法は、本発明に含まれるものである。

【 0 0 3 9 】

また、テレビジョン放送によって商品や役務の紹介を行う際に、それら商品や

役務に関する管理データ Dp を映像パターン P として携帯電話 3 側へ送信する場合を説明したが、これらの管理データ Dp の他に、購入者 3 が商品購入などの操作を行う際に、携帯電話 2 に利便性の高い機能を持たせるためのアプリケーションソフトを映像パターン P に含めて再生表示し、光受信部 2 b でその映像パターン P を受信してアプリケーションソフトを携帯電話 2 にダウンロードするようにしてもよい。

【 0 0 4 0 】

また、通信販売主 6 側から通信ネットワークを介して上記のアプリケーションソフトを携帯電話 2 にダウンロードさせるようにしてもよい。

【 0 0 4 1 】

また、携帯電話 3 の光受信部 2 b が受信した管理データ Dp を記憶部 2 d に記憶した後、購入者 3 が操作部 2 e に設けられている所定のファンクションキーを操作すると、その管理データ Dp を表示部 2 i に表示し、その表示内容に基づいて所望の商品や役務の購入を選択指定させることで、データ生成部 2 g が申込データを生成して通信販売主 6 側へ送信するようにしてもよい。かかる構成によれば、購入者 3 は、紹介番組が終了した後も所望の商品や役務の申し込みを行うことができ、更なる利便性の向上を図ることが可能となる。

【 0 0 4 2 】

また、本実施形態では、携帯電話を用いて商品等の購入申し込みを行う場合を説明したが、本発明は、PDA（携帯情報端末装置）等の他の携帯通信装置を用いた通信販売システムにも適用できるものである。

【 0 0 4 3 】

また、購入者へ商品情報等の提供を行うためのメディアとしてテレビジョン放送に限られるものではなく、インターネット等で代表される通信路網を利用してテレビジョンセットや表示手段を備える端末装置側への情報提供を行うようにすることも可能である。

【 0 0 4 4 】

また、本発明で言う「通信販売」とは、商品等の購入予約を通信メディアを通じて行い、実際の商品等は運送によって配送するといった形態に限られるもので

はなく、コンピュータプログラムや映像情報や音楽情報などを商品として販売する場合、インターネット等の通信路網を通じてユーザー等の所有するパーソナルコンピュータやPDA等の端末装置に配信するという形態を含むものである。

【 0 0 4 5 】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、購入者（視聴者）は、所有する携帯通話装置を用いて簡単に商品や役務の購入申し込みを行うことができ、通信販売主は、テレビジョン放送や通信路網等のメディアを利用して、不特定多数の視聴者を対象として商品や役務の拡販を図ることができる等の優れた効果を発揮する。また、電子決済を行うことをことで、信頼性の高い商取引が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施形態の通信販売システムの全体構成を示す概略図である。

【図 2】

テレビジョンシステムにて放映される紹介番組の一表示形態を示す図である。

【図 3】

本実施形態の形態電話の構成を示すブロック図である。

【図 4】

本実施形態の通信販売システムの決済時の動作を説明するための図である。

【符号の説明】

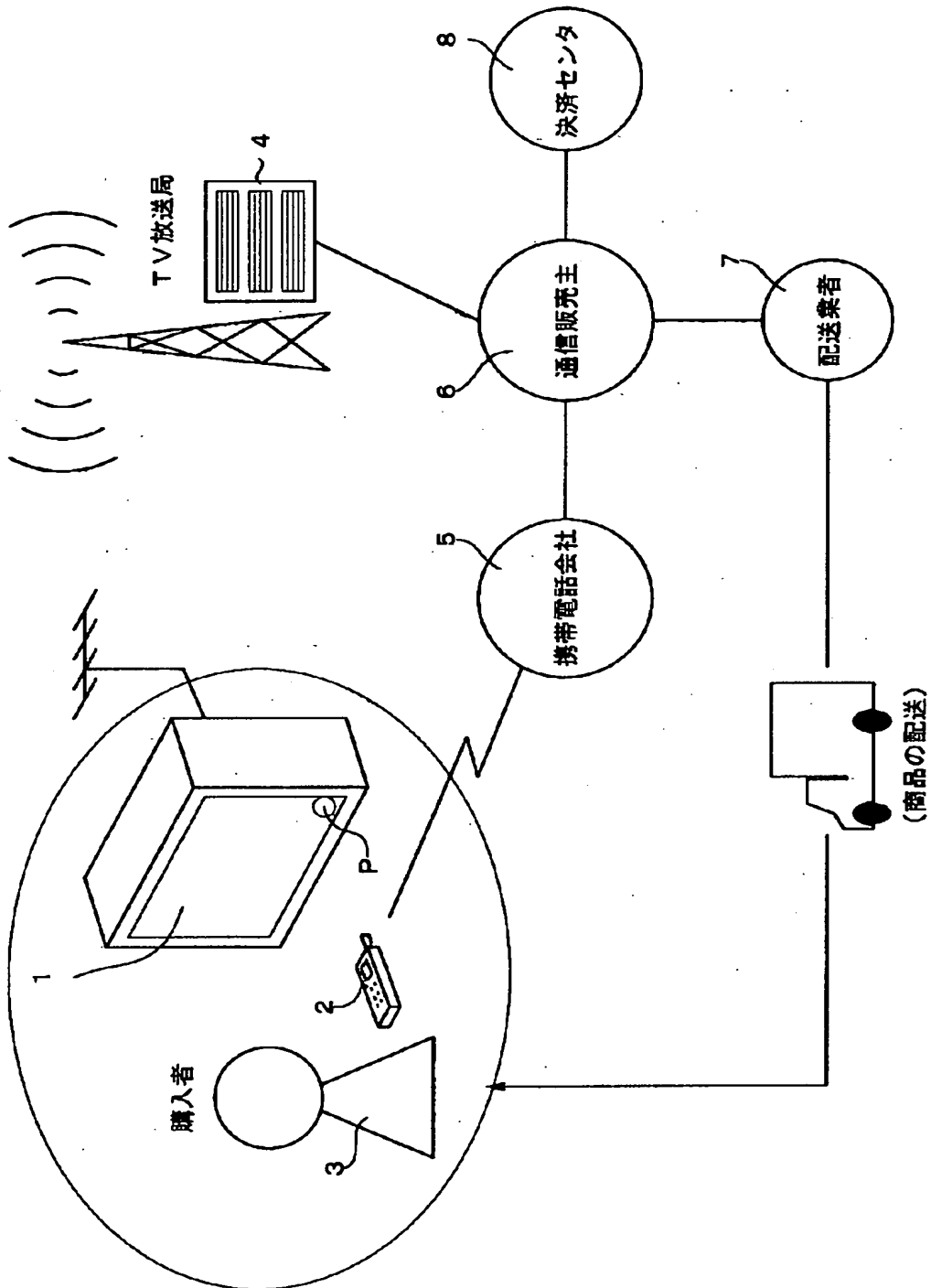
- 1 … テレビジョンセット
- 2 … 携帯電話
- 2 a … 光受信部
- 2 f … 送受信部
- 4 … テレビジョン放送局
- 5 … 携帯電話会社
- 6 … 通信販売主
- 7 … 配送業者
- 8 … 決済センタ

特 2 0 0 0 - 3 9 5 4 8 6

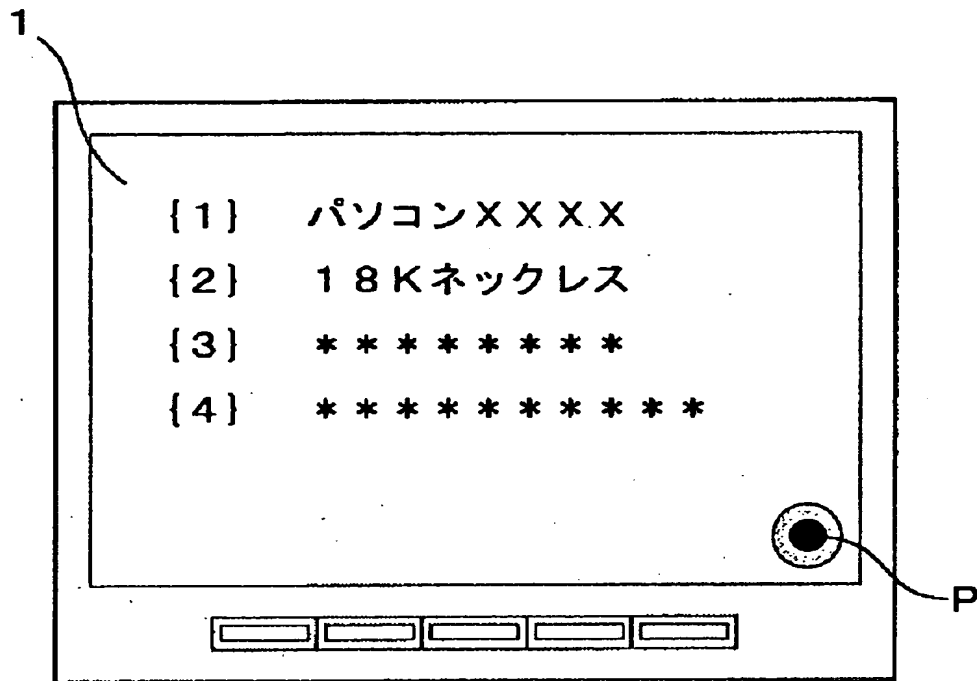
P…映像パターン

【書類名】 図面

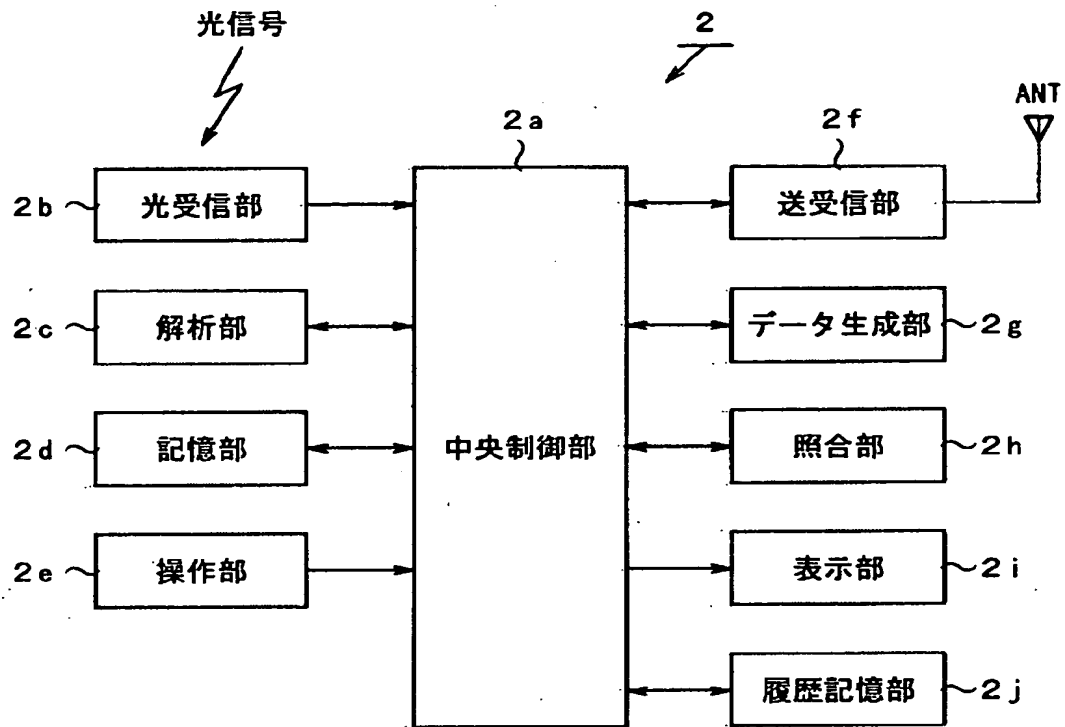
【図 1】



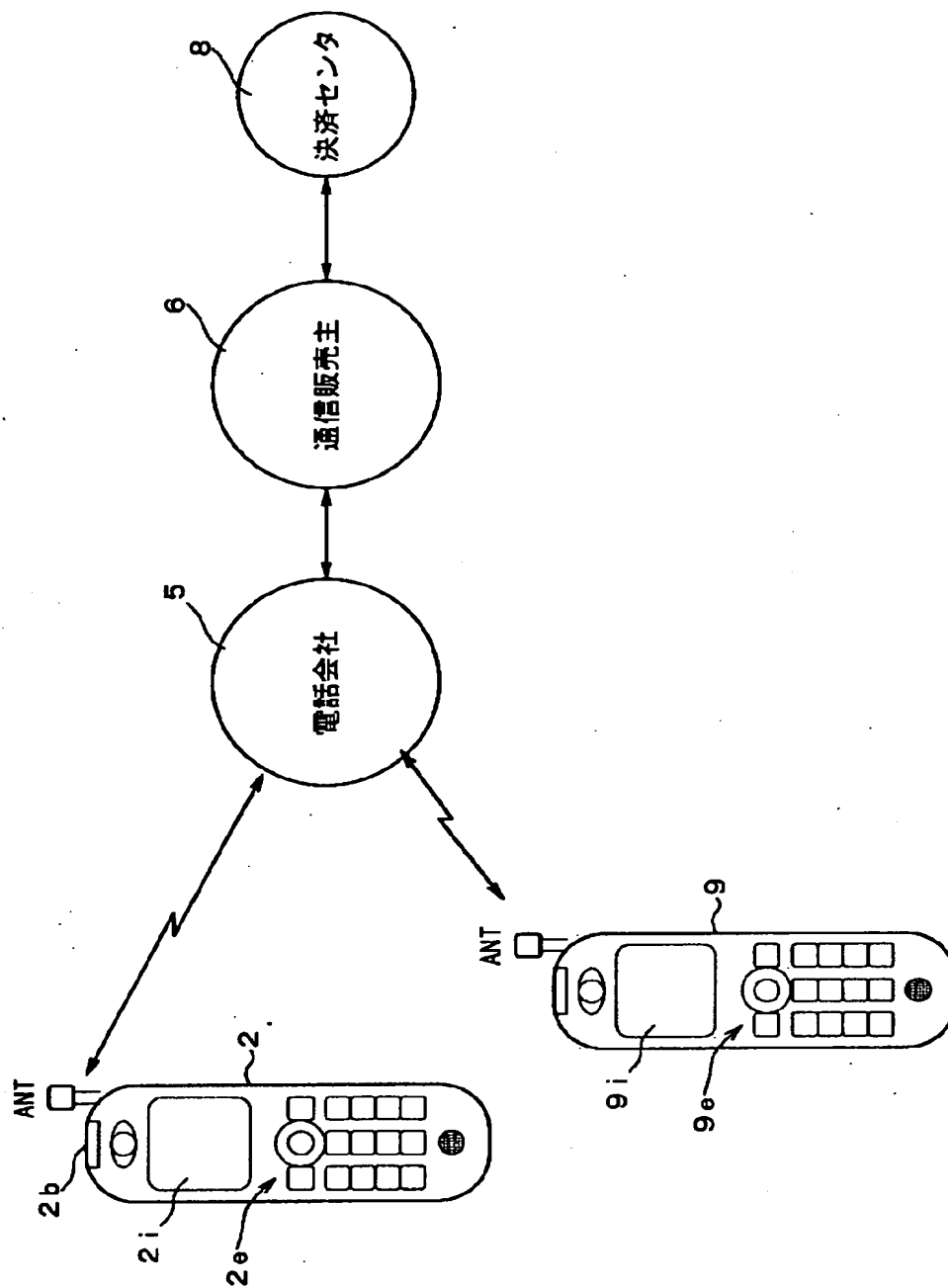
【図2】



【図3】



【図4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 購入者にとって利便性の高い通信販売システムを提供する。

【解決手段】 TV放送局4からテレビジョン放送によって商品や役務の情報を放映し、不特定多数の視聴者に提供する。視聴者（購入者）は、テレビジョンセット1の一部分に商品等の管理データとして映し出される映像パターンPを、所有する携帯電話2の光受信部で受信させると共に、携帯電話2を操作して放映されている商品等を指定する。携帯電話2は、指定された商品等と受信した管理データとを照合し、所定の申込みデータを生成して、通信ネットワークを通じて通信販売主6に対し申し込みのための通信を行う。通信販売主6は、申し込みを受けると、指定された商品等を配送業者7に配送させる。配送業者7が購入者3に商品を引き渡して代金の支払いを受ける際にも、購入者3の携帯電話2と配送業者7の携帯電話を用いて、通信販売主6に対して決済の要求をし、決済センタ8による適切な決済を行わせる。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500313606]

1. 変更年月日 2000年 7月 3日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都渋谷区神宮前6-10-11 原宿ソフィアビル7階
氏 名 株式会社ブイシンク